

INFORMATION

■ 大学からのお知らせ

連続講座「京の美意識」

連続講座「京の美意識」では、四季をおりなす美しい景観に恵まれ、都として約1200年にわたる歴史の時を刻んできた京都の、独特の知恵や美意識を、各分野の第一線で活躍されておられる講師をお招きしご紹介している講座です。

引き続き4月からも毎月著名な方々をお招きし、「京の美意識」についてご講演いただきます(右表参照)。是非ご参加ください。(無料)。

京の美意識に関するお問い合わせ

京都嵯峨芸術大学 文化事業部
「連続講座・京の美意識」係
TEL. 075-864-7898(直)
FAX. 075-882-7770
bunka@kyoto-saga.ac.jp

■ 附属施設

「収蔵品展」

過去35回の制作展から、買い取り所蔵作品を展示します。また、5月には2006年度末で退官される短期大学部黒川彰夫教授の記念展を開催する予定です。

博物館・ギャラリーに関するお問い合わせ
京都嵯峨芸術大学 博物館／ギャラリー課
TEL: 075-864-7852

「あらし山びこ」

2007年度で3年目をむかえる絵本の読み語りを中心とした「あらし山びこ」イベント。5月からも毎回テーマを設け、開催します。

あらし山びこに関するお問い合わせ
京都嵯峨芸術大学附属図書館
TEL: 075-864-7875
E-mail: lib@kyoto-saga.ac.jp

■ 京都嵯峨芸術大学公式サイトのご案内

京都嵯峨芸術大学公式サイトでも最新の大学情報がご覧いただけます。
(PC) <http://www.kyoto-saga.ac.jp/>

2007年度講座スケジュール

4/28(土)	「萬亀樓の生い立ちと今まで」 小西重義 (京料理 萬亀樓)
5/26(土)	「人間の都合・自然の都合」 佐野藤右衛門 ((株)植藤造園 代表取締役社長)
6/23(土)	「錦の庵丁屋」 寺久保進一朗 ((株)有次 代表取締役社長)
10/27(土)	「京の手仕事・技と美…心」 浅野美芳 (鍛冶師)
11/17(土)	「都と提灯のかかわり」 高橋康二 (高橋提燈(株) 代表取締役社長)
12/8(土)	「伝統と現代」 藤間勘吾 (舞踊家)
1/19(土)	「やきもの・破壊から生まれる形」 寄神宗美 (陶芸家)
2/23(土)	「型絵染—私の制作」 伊砂利彦 (型絵染作家)
3/22(土)	「天台声明の実唱と今様歌」 赤松隆成 (法住寺 住職)

特別講座

特別講座は、学外から現在活躍中の著名なアーティストやデザイナーなどを本学に招聘し、通常の授業では学べない内容について講演・演習などを行っていただく講座です。一般の方にも一部開放しています。

4/24(火)	「バッカミンスター・フラーの世界」 梶川泰司
5/15(火)	「パフォーマンスアートの現場から—グラインダーマンの活動—」 タグチヒトシ

特別講座に関するお問い合わせ

京都嵯峨芸術大学 教務課
TEL. 075-864-7867(直)
E-mail kyomu@kyoto-saga.ac.jp

■ 大学行事予定

3月、4月の主な大学行事は以下の通りとなっています。

3/20(火) 卒業・修了学位記授与式
第35回制作展授賞式
3/27(火) 理事会・評議員会
3/22(木) 在学生対象オリエンテーション～31(土) 定期健康診断(31日)
4/2(月) 入学宣誓式
保護者懇談会
新規採用者辞令交付式
4/3(火) 新入生対象オリエンテーション～7(土) 大覚寺見学会(5日)
学友会新入生歓迎会(7日)
4/9(月) 前期授業開始

京都嵯峨芸術大学広報

第 20号
2007年3月20日発行

編集●京都嵯峨芸術大学 企画広報室
発行●学校法人大覺寺学園 京都嵯峨芸術大学
〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
TEL.075-864-7859
FAX.075-882-7770
info@kyoto-saga.ac.jp

■ 附属博物館スケジュール

4/2(月)～5/20(日)「収蔵品展」
(月曜および4/29～5/6は休館)

■ 附属ギャラリー
スケジュール(月曜休館)
4/10(火)～28(土)
「収蔵品展」
5/22(火)～6/3(日)
「黒川彰夫退職記念展」

あらし山びこスケジュール

5/12(土)「嵯峨祭り」
6/ 9(土)「衣替え」
7/ 7(土)「川(またまた川)」
9/ 8(土)「住」
10/13(土)「愛宕」
11/10(土) 講演会を予定(内容は未定)
12/ 8(土)「食」
2/ 9(土)「立春」
3/ 8(土)「嵯峨の樹(記念樹)銘木」

また、こちらのQRコードを使って携帯サイトにアクセスすることも出来ます。



京都嵯峨芸術大学 広報

KYOTO SAGA

UNIVERSITY OF ARTS

PUBLIC RELATIONS

VOL.20

MARCH 2007

Contribution

巣立つ諸君へ

京都嵯峨芸術大学 学長 三好郁朗

News

大学報告

第35回制作展を開催 卒業・修了制作展／進級制作展
2006年度退職者報告



教育後援会報告

制作展見学会



Topics

在学生の活躍

アートオークションに本学学生が参加

卒業生の活躍

金子真理子さんが絵本を出版

大学の活動

第2回車座シンポを開催
附属施設の活動
附属ギャラリーの報告



Information

生涯学習講座2007年度受講生募集

連続講座「京の美意識」

特別講座

収蔵品展

博物館・ギャラリースケジュール

あらし山びこ

● KYOTO SAGA
UNIVERSITY OF ARTS

卒業・修了式を迎えたみなさんに心からおめでとうと申し上げます。今年は例年になく春の訪れが早いようです。そのせいでしょうか、ひときわ華やぐ思いでみなさんを送り出せるような気がします。明日からはいろいろ異なった環境がみなさんを待っているのでしょうか。これからの方針がはっきり定まっている諸君もあれば、まだもうひとつ定まりかねている諸君もあろうと思いますが、卒業・修了というのはやはり、諸君の人生にとって一つ大きな区切りでしょう。これを機に、明日からの日々をいかに思い描くか、走り出す前にぜひ一度じっくりと考えてみてほしい。送り出す側から的心からのお願いです。

本学園の「教育憲章」にくやわらかな感性、ゆたかな美意識、かけがえのない



巣立つ諸君へ

—蒔かれた種子にどのような花が咲くか—

三好郁朗

京都嵯峨芸術大学 学長

自分>という一行があります。若い諸君の柔軟な精神と感性を大切に育てたいという本学芸術教育の目標を表現したもので、卒業後もぜひ記憶にとどめておいてもらえばと思います。卒業するみなさんが、いま、本学のこうした教育理念をどのように受け止めてくれているのか、ぜひとも知りたいところですが、実は、みなさん自身にとって、その答えが見えて来るのはもう少し先のことだろうと思います。

近年、いろいろな事由で、卒業の日を待たずに大学を去っていく諸君の数が増えています。家庭の事情や健康の問題でそうならざるをえなかった場合は、ほんとうに残念なことだったろうと思います。

一方、これといった明確な理由はないが、大学での日々がなんとなく自分の望んだ

ものでないような気がする、そう言って早々に大学を去っていく人たちもあります。人それぞれ、一概にこの善し悪しを断じるつもりはありませんが、若い諸君に与えられた時間はけっこう長いのであって、何をあせることがありましょう、じっくりと自分を見つめるためにも、一度はじめたことはあまり安易に投げ出さないでほしい、常々そう思っていることです。その点、みなさんは本学での時間をしっかりと全うされたわけで、そのことの意味、大きさは、いますぐではないかもしれません、いつかかならず自覚されるものと、私は信じています。

それにしても、大学というところは、みなさんのこれから的人生にとって、せいぜいが、土地を耕し、種を蒔いたぐら

いのところでしょうか。花を咲かせ、実をみのらせるのは、もっとずっと先のことと、それまで、まだまだ土地の手入れも肥料やりも必要だろうと思います。問題は、本学で過ごした時間にみなさんがどのような種子を蒔けたかでしょうが、それはおそらく、みなさん自身にもよくわかっていないでしょう。言いかえれば、大学で学んだことの意味など、いまはまだよくわからないのが当然であって、いつの日か蒔かれた種子が花をつけたときになって、ようやく、大学での日々がもつていた意味もわかってくる、そういうことではないでしょうか。

社会的評価を得た人たちが、大学で何かを教わった覚えなどない、と嘯く場面をときおり見かけますが、そう言い切れる自信そのものが、大学で過ごした一見無意味な、その実豊かな自己発見の時間によって育まれたものであることが多いのです。諸君が本学で過ごした時間、その間に見聞きし、学び、考えたこと、そのすべてが種子となって、いつの日か大きな花を咲かせることを信じましょう。

本日の卒業式で、みなさんは「般若心経」を耳にします。入学式ではじめ

て耳にし「ああ、ここは大覺寺学園だった」と、いまさらのように気づいた人も多かったかと思います。偶然だったにもせよ、みなさんは大覺寺学園で学ばれました。そして、般若心経を、少なくとも大学生活のはじめと終わりの2度は耳にされたわけで、これもまた本学で蒔かれた種子のひとつではないでしょうか。本学では狭い意味での宗教教育こそおこなっていませんが、般若心経の心が本学の藝術教育のバックボーンをなしていることは確かなのですから。いまはそのことにさしたる意味を見いだせなくとも、卒業後何年かして、なにかのおりに心経を目にし、耳にして、自分の生き方をめぐって何かを思う機会がくるかもしれません。そこに思いもよらぬ花が開くかもしれません。

これはほんの一例にすぎません。みなさんが本学で過ごした間に、自分でも気づかぬうちに蒔いてきたであろうさまざまな種子が、いつどこで、どのような花を咲かせることになるのか、みなさんを送り出すいま、私もまた身の震えるような期待の思いを感じずにおれないでした。



大学報告

第35回制作展を開催！

卒業・修了制作展

2月7日(水)～2月11日(日)、京都市美術館において、京都嵯峨芸術大学並びに同短期大学部、同大学院の卒業・修了制作展を開催しました。

毎年学生生活の集大成とも言える充実した作品が並ぶ本展ですが、今年度は、初めて大学院芸術研究科修了生の作品が展示され、一段と見応えのある展覧会となり、約5000人(5日間)の来場者で賑わいました。

なお、開催期間初日に、優秀作品として各賞を選定しました。(右の一覧参照)受賞者は、3月20日の卒業・修了証書授与式に先立って行われる授賞式で表彰されます。



学長賞「百鬼夜行絵巻」相良 侑子



芸術学部賞「花と風」松本 哲寛



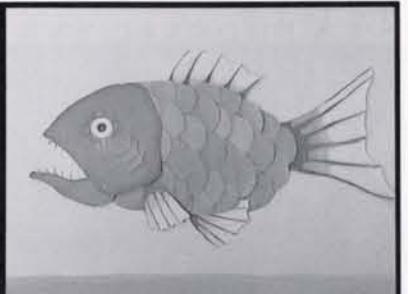
同窓会賞「第35回制作展」増田 優太郎、中野渡 有美

大学院・芸術学部

学長賞	造形学科	ゲイアト	相良 侑子	百鬼夜行絵巻
研究科賞			該当者無し	
芸術学部賞	造形学科	彫刻	石川 直登	Roots
芸術学部賞	観光デザイン学科		松本 哲寛	花と風
大覚寺賞	観光デザイン学科		大平 宣史	breath work
教育後援会奨励賞	造形学科	日本画	木田 裕美	希望
教育後援会奨励賞	造形学科	油画	村井 言枝	心配いらない。誰も知らない。 仕留めたハートを食い散らす女達 赤い糸を求める聖夜 安上りがりな幸せが溶ける日常
教育後援会奨励賞	造形学科	版画	成山 亜衣	
教育後援会奨励賞	造形学科	ゲイアト	小西 陽佑	SHIFT
教育後援会奨励賞	造形学科	彫刻	奥田 耕司	Structure for feeling the sky
教育後援会奨励賞	観光デザイン学科		成田 直人	音楽・デザインの関係とその可能性-D A P-
教育後援会奨励賞	観光デザイン学科		江村 萌	千里中央駅～連続する帰路空間 深風景 Chain of image#1 深風景 Chain of image#2 深風景 Chain of image#3 深風景 Chain of image#4
同窓会賞	造形学科	版画	松谷 博子	
同窓会賞	造形学科	日本画	森本 有佳	如意輪観音像 復元・現状模写
同窓会賞(論文奨励賞)	大学院芸術研究科	観光デザイン	河野 隼也	京都妖怪観光館
短期大学部				
学長賞	美術学科	ラストレーション	小田 文子	with goat
美術学科賞	日本画	竹中 未知	トリ	
美術学科賞	美術学科	シストボーディ	山下 康代	びこ
美術学科賞	美術学科	グラフィックデザイン	古川 かおり	a-i-u-e-o
美術学科賞	美術学科	インテリアデザイン	川合 奈々	響～集まる・拡がる・駅～
大覚寺賞	美術学科	陶芸	山口 知子	REN
大覚寺賞	美術学科	ラストレーション	近美 あずさ	Kuriyama & Gokki
大覚寺賞	専攻科	洋画	宮越 愛	そこまで
教育後援会奨励賞	美術学科	日本画	中嶋 真梨子	碧羅一遠一
教育後援会奨励賞	美術学科	洋画	渡邊 菜穂子	自転車
教育後援会奨励賞	美術学科	シストボーディ	厨子 理菜	ドラゴン
教育後援会奨励賞	美術学科	陶芸	山地 ひとみ	向こう側
教育後援会奨励賞	美術学科	染織	西野 満美子	朱の世界
教育後援会奨励賞	美術学科	グラフィックデザイン	海崎 恭子	絶滅危機の動物達を救おう！
教育後援会奨励賞	美術学科	グラフィックデザイン	橋本 亜佑美	Local paper bag project ~四国編~
教育後援会奨励賞	美術学科	グラフィックデザイン	米田 恵利	オリジナル華文字ロゴ&グッズ
教育後援会奨励賞	美術学科	ラストレーション	田中 桃子	AHo!
教育後援会奨励賞	美術学科	ラストレーション	戸倉 彩音	ふーくんのたんじょうび
教育後援会奨励賞	美術学科	ラストレーション	吉田 郁子	漫画面道
教育後援会奨励賞	美術学科	ラストレーション	渡邊 匠子	白
教育後援会奨励賞	美術学科	アート・カーデザイン	竹澤 愛子	unlimited
教育後援会奨励賞	美術学科	アート・カーデザイン	野田 陽子	鱗 UROCO
教育後援会奨励賞	専攻科	日本画	打尾 晴美	青の生
教育後援会奨励賞	専攻科		橋本 佳代子	illness
同窓会賞	美術学科	日本画	渡邊 雄介	滝
同窓会賞	美術学科	洋画	廣山 舞	绝望
同窓会賞	美術学科	グラフィックデザイン	龜井 麻衣	PaNDoRa
同窓会賞	美術学科	ラストレーション	大村 祥子	I ♥ YOU
同窓会賞	美術学科	ラストレーション	酒井 麻以子	trill
同窓会賞	美術学科	アート・カーデザイン	迫田 嘉香	roe-cord
同窓会賞	専攻科		増田 優太郎	第3.5回制作展
				中野渡 有美

大学報告

2006年度退職者報告



学長賞「with goat」小田 文子



進級制作展

卒業・修了制作展と同期間中、京都嵯峨芸術大学校内では、芸術学部2、3回生と短期大学部1回生の進級制作展を開催しました。授業における課題作品や、自由制作作品がキャンパス各所で展示され、普段とは違った雰囲気が大学を包みました。

また、進級展と連動して、学生による実行委員会が中心となり学内各所において様々なイベントを毎年行っていますが、今年度の企画として、普段クラブボックスとして使用している部屋を利用した個展形式の「one room」や、デザイン系の学生等がプロデュースした「café & gallery」、会田誠氏を招いての講演会、講評会(2月11日)。金氏徹平氏、飯川雄大氏による座談会形式のカフェトーク(2月9日)などが行われました。

今年は、京都市美術館と本学キャンパスをシャトルバスで結ぶなど、約1400名の来場者を迎えて、盛況のうちに終えることができました。

5

5

5

教育後援会報告

制作展見学会を開催

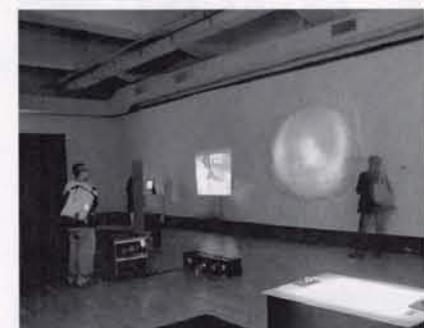
毎年互り、本学園における教育・研究活動の発展に寄与いただいた先生方が、2007年3月末日をもって退職されます。

京都嵯峨芸術大学、同大学院
伊庭新太郎 教授(特別任用教員)
渡辺典子 教授(特別任用教員)
深田進 教授(特別任用教員)
山下莊二郎 教授(特別任用教員)
山村高淑 助教授

渡辺、深田両教授には本学園定年退職後も特別任用教員として、教育・研究活動にご尽力いただきました。伊庭教授は本学園定年退職後、客員教授を経て、大学院設置に伴い特別任用教員として院生の指導にあたってご協力いただきました。山下教授は教職科目担当者として、山村助教授は観光デザイン学科の担当者として京都嵯峨芸術大学開設時よりご担当いただいておりました。

京都嵯峨芸術大学短期大学部
黒川彰夫 教授
奈良平宣子 教授

黒川教授には美術分野の担当者として、また、短期大学部長・図書館長として教育・研究活動にご尽力いただき、理事として、学園運営にご協力いただいておりました。奈良平教授にはデザイン分野担当者として、ご活躍いただきました。



「テキスト建築意匠」が発刊

観光デザイン学科の藤木庸介専任講師が執筆（共著、4章・12章を担当）された「テキスト建築意匠」が学芸出版社より発刊されました。



テキスト建築意匠
学芸出版社

学内イベント

各分野、研究室等の成果発表

2006年7月から11月へかけて、各分野・研究室での学生研究発表が以下のとおり学内、学外各所で行われました。大覺寺を斬新な芸術で彩る、あるいは他大学研究室、卒業生とのコラボレーションによる企画など、様式に囚われない芸術大学らしい企画が展開されました。

○ 2006年(7月～10月)研究発表一覧

7/7～11, 8/4～6	「メディカッP06」	メディアアート研究室	造形学科メディアアート分野学生展
7/18～23	「日本画制作展」	日本画研究室	造形学科日本画分野制作工房3、4回生展
7/25～8/6	「陶芸・染織展」	陶芸・染織研究室	短期大学部学生陶芸、染織展
9/27～10/1	「feelcode」	メディアアート研究室	ヘッドマウントディスプレイを使用した「透過型映像の研究発表展」 協力：京都大学学術情報メディアセンター 中村研究室、(株)島津製作所航空機器事業部、TRANSLABO
10/4～22	「SCOPIE」	メディアアート研究室	大学院造形複合分野学生3名の研究発表展
10/5～9	「大覺寺野外展」	彫刻研究室	彫刻分野学生による大覺寺での野外展
10/17～26	「Thinking Print voll ～層・イメージ・色彩～」	版画研究室	版画分野学生、卒業生による研究発表展。
10/25～11/6	「有響館展」	彫刻研究室	彫刻分野学生による有響館でのインスタレーション展

学生イベント

嵐芸祭（学園祭）、 ホームカミングデーを開催

2006年11月22・23日の2日間、嵐芸祭が開催されました。今年は「融合-You go-」というテーマの元、お笑いライブや、POLYSICSのライブ、個性的な模擬店など、多彩なイベントが展開されました。

また、11月23日には、卒業生を招いてのホームカミングデーとし、約70名の卒業生が「高石ともやトーク&フォーカク」等にご参加いただきました。

その他様々な学生イベント

学生が企画、運営する様々なイベントが行われました。和装業者のさがの館とタイアップした「和服のファッショショーン」や、学内でのハロウィンパーティー、シタール奏者を迎えての「インド音楽の夕べ」など、国際性豊かな内容で繰り広げられました。



学生の活躍

「TOKYO DESIGNERS WEEK」に参加

2006年10月31日から11月5日に明治神宮外苑で行われた「TOKYO DESIGNERS WEEK 2006」の「STUDENT EXHIBITION」に、本学からも短期大学部デザイン分野、専攻科、芸術学部観光デザイン学科の選抜された学生が11名参加しました。

学生の活躍

公募展での受賞

各公募展において、本学学生が入賞するなど、活躍しています。

■「岐阜フラッグアート展」：

岐阜フラッグアート展実行委員会主催、審査委員長日比野克彦氏

岐阜市賞 / 遠藤 友美恵さん（短期大学部美術分野2回生）「存在する」

■「第四回ふろしきデザインコンペ」：日本風呂敷協会主催

佳作 / 伊藤 現さん（芸術学部観光デザイン学科2回生）

■「2006夢の自転車アイデア募集」：ホビーサイクルプロジェクト委員会主催

近未来型自転車部門優秀賞（最優秀賞該当なし）

/ 岡田 考博さん（芸術学部観光デザイン学科2回生）「Leaf」

※同企画への多数の参加によって、
芸術学部観光デザイン学科が「特別団体賞」を受賞。



特別団体賞

■「アートジャム2006」：毎日放送主催

タカラトミー部門タカラトミー賞

/ 田口 由美子さん（芸術学部造形学科版画分野3回生）「She is so cool！」

京都学生祭典での活躍

2006年10月7、8日の2日間、京都にある大学全体のお祭り「京都学生祭典」が平安神宮などで開催されました。

本学からも、メインの企画である「京炎 そでふれ！」に3名の学生が踊り手として参加、また、短期大学部学生が縁日へ「陶器市」を出店しました。今回からの新しい企画として登場した学生みこしを、油画分野3回生の伊藤仁さんを中心としたチームが製作するなど、随所で存在感を示しました。

